

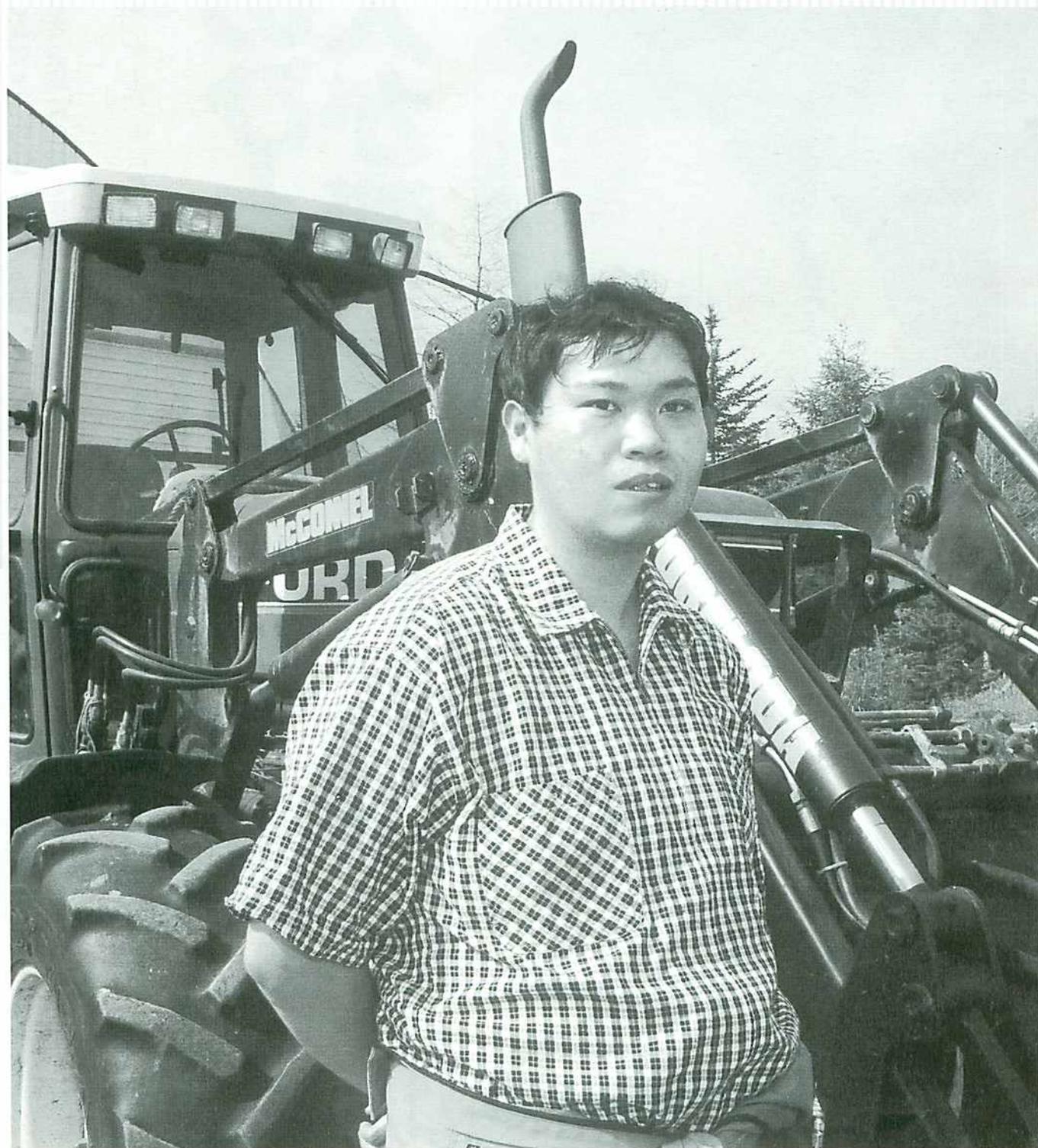
あなたとJAをおすすめ情報誌

なかしべつ

2003

8月
No.344

牛と対話し、安定した経営を目指したい」と話す鈴木達也さん。



当農協の夏の恒例イベント、「JA夏まつり2003」が、七月二十五日、金融課前駐車場を会場に今年も盛大に行われました。



短い夏のひと時を、 大勢の人が楽しみました。



今年も好天に恵まれず、準備の段階ではパ
ラッと雨も降り、誰の行いが悪いのかと責
任転嫁することしきりでしたが、約一千人ほ
どの集客動員があり、三百万円超の売上げと
成功裏に終了できたとおもいます。ご協力の
いただいた日本フード、両宮印刷、中谷デザイ
ン、中標津市場、北酒連、及川組、コココー
ラ、味のオーハシ、JA女性部、JA職員（全
て敬称略順不同）の皆様のおかげです。あり
がとうございました。

さて、ステージ上は今年も酪農課長測の名
司会で進行しました。「小学生の〇×クイズ」、
中標津産のだいこん、ピーフを存分に食べて
いただく大人の職域対抗「大食い選手権」、会
場でお腹いっぱいになった後の運動として「風
船早割りクイズ」などのゲーム大会と、白田
慶和さんらによるカントリーダンス。今年の
生バンドはジャズと、羅白の人気マーチング
バンドといった例年のない興奮する企画が目

JA夏まつり





ビール片手に、肉、魚介類と、うまい物に
思わず笑顔がはじけます！

白押しでした。
あるるとの協賛企画、カラホン（福引き）では、早い段階で特賞のJCBギフト券五万円がでてしまったものの、当農協の乳製品詰め合わせやだいこん・イチゴセット、F1牛肉などたくさんさんの商品を持ち帰るすがたもあり日頃から「あるる」をご利用くださいますとありがとうございますという気持ちになりました。
毎年、お世話になっている町民に農協が還元する意味で企画しているこのイベント。楽しみにしてくれているお客さんが多いのが嬉しいところ。

夜店、ゲーム大会に子供たちも大喜び！



七月二十三日、中山間地域等直接支払制度事業を受益する中標津地区集落（上村重光代表）は、役員で北海道立根釧農業試験場を訪れ、北海道ナンバードワンを誇る規模の農業施設を視察しました。

これは、集落の五カ年計画に予算計上されている「家畜ふん尿処理対策」の一環として行ったもので、農業試験場の視察をかねて、ふん尿施設の視察及び堆肥の有効活用による減肥効果の説明を受け、集落での事業展開を検討し、反映するために企画されました。



試験場の模型



二度とBSE禍が起らないように

る日本産の餌による飼育体制を構築し、二度とBSE禍が起らないようなシステム作りの試験を行っており、このような乳牛の生産体制を行

視察はまず施設の模型によって庁舎内の説明を聞き、各科が行っている研究についてパネルで説明を受けました。施設敷地内の移動は、全員白衣を羽織って長靴を履いての移動となりました。

BSE放牧試験という試験棟があり、全て日本で採れたトレーサビリティ（生産履歴）されている飼料を食べさせることにより、完全な

えば、牛乳一頭の生産コストが一千円位になるのではという話でした。そのほか、搾乳ロボットを導入し、牛の行動観察をしている施設行動実験舎や、試験用に牛の体に穴を空け

ふん尿の利活用は、まず土壌を知ること

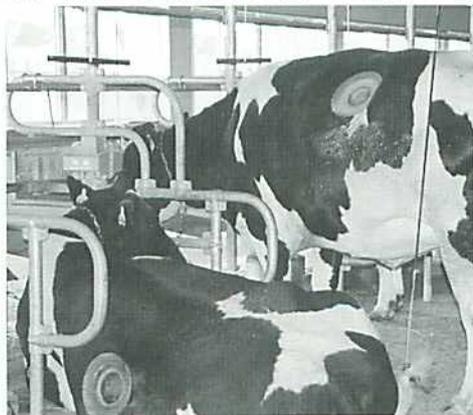
道立根釧農業試験場を視察



ふん尿の利活用には土壌調査が不可欠だと説明する三枝科長

てあったりと、研究施設だなどと思われられる器械が多数あり眼を見張りました。参加者からは規模が大きすぎて比較にならないという厳しい声も出ましたが、試験場の研究が当農協の酪農に生かされるように願ってやみません。

低コストのふん尿処理を行うために道内の各試験場が実験を行ってきた、シート利用のふん尿処理施設について、酪農施設科の堂腰顕研究員より説明があり、続いて「糞尿の有効利用」と題して草地環境科の三枝俊哉科長より、「ふん尿を有効に活用するために、ふん尿を肥料に正確に置き換えて計算する事が必要であり、土壌調査も不可欠であること」などが話されました。



体に空けられた穴が…

どうなる？

根釧農業試験場がリニューアルされて、旧施設が急ピッチで取り壊されている農業試験場ですが、保存を求める働きかけも町内の有志から起こっております。今後、どのようになっていくのか注目されるところです。

ひと足先にポワートさんとニュージーランド 今、絵里さんはニュージーランドで酪農体験中。

五月二十八日～三十日までの三日間、豊岡の竹村富夫牧場にニュージーランド在住のマーク・ポワート氏が訪れ、当農協管内の酪農や観光名所を視察しました。



竹村牧場のポニーと一緒にパチリ

訪れたのはニュージーランド・テアロハ(地区名のマーク・ポワート氏と妻シャロンさん、息子のコービン君・キーラン君の四人(写真)。

ポワート一家は、竹村さんの長女(絵里さんが今年六月から海外酪農留学に行っている受入先のシェアーミルカー(共同経営者)で、たまたま日本へ訪れる事になっていたポワート氏が、日本の酪農も見たいという事で竹村さんに白羽の矢があたり、急ぎよ視察先に決まったもの。滞在中の三日間は、昼に竹村牧場のほか横田好一牧場やゆめの森公園・開陽台などを視察し、夜は竹村さんご近所さんを含めての交流で、最後は日本語と英語が乱れ飛んでの宴になったとか。

今年の春に高校卒業し、ニュージーランドへ渡ってひと月になる娘さんについて、竹村さんは「ケータイに電話をかけてもつながらなくて心配が募ることもある。けれど、海外へ酪農留学することによっていろんな体験をし、見聞を広げる事は将来娘のプラスになるはず。費用は若干かかるが、専門学校などに進学させ



マークポワート氏(左端)一家と竹村絵里さん(前列右から2番目)

て帰ってきて就職がないとなるよりにたためるのでは」と笑う。希望どおりニュージーランドの酪農を今まさに体感している絵里さんは、このあと二軒ほど受入先を替えて研修し、来年五月に帰郷する予定。土産話をいっぱい持って帰ってくる絵里さんがこの一年間でどんなに成長してくるか、今から楽しみです。

【PR】

社団法人・北海道国際農業交流協会では、引き続き農業交流生を募集しております。ニュージーランドほか海外のどこの地域への研修も可能です。希望者本人の「見たい・学びたい・習得したい」という要望に即した国や地域、受入農場の選定を行いサポート致します。

「現在は、低コストと消費者イメージを大切にし、環境にやさしい放牧型酪農を視察したいという要望が多く、ニュージーランドへの研修に力を入れていきます」と田村事業推進部長。詳細については左記まで

〒060-0004
札幌市中央区大通西七丁目二番地・ダイヤビル8F
電話011-251-3853
社団法人・北海道国際農業交流協会・田村
または、J A 中標津経営相談課
中村・裏地(2-2903)まで。



世界に、
はばだけ

JA
農業農村
交流施設
「クレエ」

地場産牛乳などを使って、 小学生が体験交流。

七月九日、十二日の両日、新施設「クレエ」を利用した小学生の体験交流などが行われました。



牛乳に酢を加えると…!?



この問題がわかるひとー!

九日は、お隣の東児童館のご協力を得て「みるく教室」が開催され、バター作りや、乳酸飲料作り、また牛乳を使った実験などが行われました。十二日は、東小学校の父兄からの依頼で、おいしいのパウンドケーキ作りや、牛乳クイズ大会などが行われました。いずれの子供達も皆、家や学校を離れての課外体験交流を終始楽しんでおり、満足気な一日を過ごしておりました。

今後も、「クレエ」を利用した体験交流を通じて、子供達の食や農への理解を深めてもらえればと願っております。

「クレエ」利用に関するお問い合わせは、JA経営企画課組織広報係 電話2-3721番まで。

七月二十四日～二十五日までの二日間、恒例のJA夏まつり「女性部特製ザンギ」出店協力の準備に、総勢三十人の部員が参加協力してくれました。



鶏肉・油VS女性部員～さて勝敗は…!?

今年、新施設「クレエ」での準備となり、エアコンもなし、換気扇もない熱地獄のような昨年までとは違い、設備も整い、作業しやすく、快適な準備となりました。が、しかし：総量は、大台三ヶタとなった昨年の百八詰から更に増量し、限界の百二十詰!? (笑)。との実行委員会からの指令に、恒例の鶏肉・油対女性部員の大格闘が始まりました。この量は、何羽の鶏が犠牲になっているのだろうか? との発言も飛び交うなか、当日の好天を願ってひたすら下処理、仮り揚げといった工程を続け、全ての鍋の底が見えた時は、必死の形相だった部員も笑顔になりました。

さて、まつり開始から、どの部門も行列ができ、我が女性部ザンギ部門も大繁盛! 午後八時二十分頃に全て完売と、大盛況のうちに終了しました。

一体何詰まで増量!? と密かにドキドキしながら、来年もまた、お母ちゃんの味・女性部特製ザンギを皆さんにお届けします。

ご協力いただきました部員の皆様お疲れ様でした。

女性部
JA夏まつり
出店協力
準備

限界に挑戦! 120kgのザンギと大格闘。

力強いプレーが続出!

弾正原副会長のナイスショット!

盟友と楽しんだ パークゴルフ。

●JA中標津熟年会
親睦パークゴルフ大会

JA中標津熟年会（藤井弘美会長）の親睦パークゴルフ大会が、七月二十日にゆめの森公園パークゴルフ場で開かれ、約五十人の参加者が四コース三十六ホールを廻り、心地よい汗を流しました。

開会で藤井会長は、「年に一回、この会場でだけ会う盟友もいるが、六回目となるこのパークゴルフ大会で誰もが自分なりに楽しみ、健康づくりにむけて豊かな一日としてもらいたい」と参加者を激励。

当日はあいにくの曇り小雨模様で肌寒く、開会前は怪我などが心配されましたが、競技が始まると熟年会とは言えないような力強いプレーが続出しました。

競技に参加しなかった元事務局・長内と同行した真野は、雪が降るのではないかという小雨の降る寒風の中で競技を見守りましたが新事務局となった渡部弘道

審査役は競技に参加し、ホールを廻るたびに巧くなっていくと同行者らに絶賛を受け、ほかの競技者もホールを廻るにつれて上着を脱ぐ姿が見られ、気持ちの良い初夏の運動になったようです。男女別三位以内入賞者及び打数は以下の通りです。

【男性】

- 一位・小林金司（九十八打）
- 二位・星野昇司（一一〇打）
- 三位・福嶋信一（一一五打）

【女性】

- 一位・渡辺フク子（一〇八打）
 - 二位・田代富子（一一〇打）
 - 三位・高藤幸子（一一三打）
- （その他の順位は左記の通り）



プレイの合間にちょっといっふく

第6回 中標津町農協熟年会親睦パークゴルフ大会結果

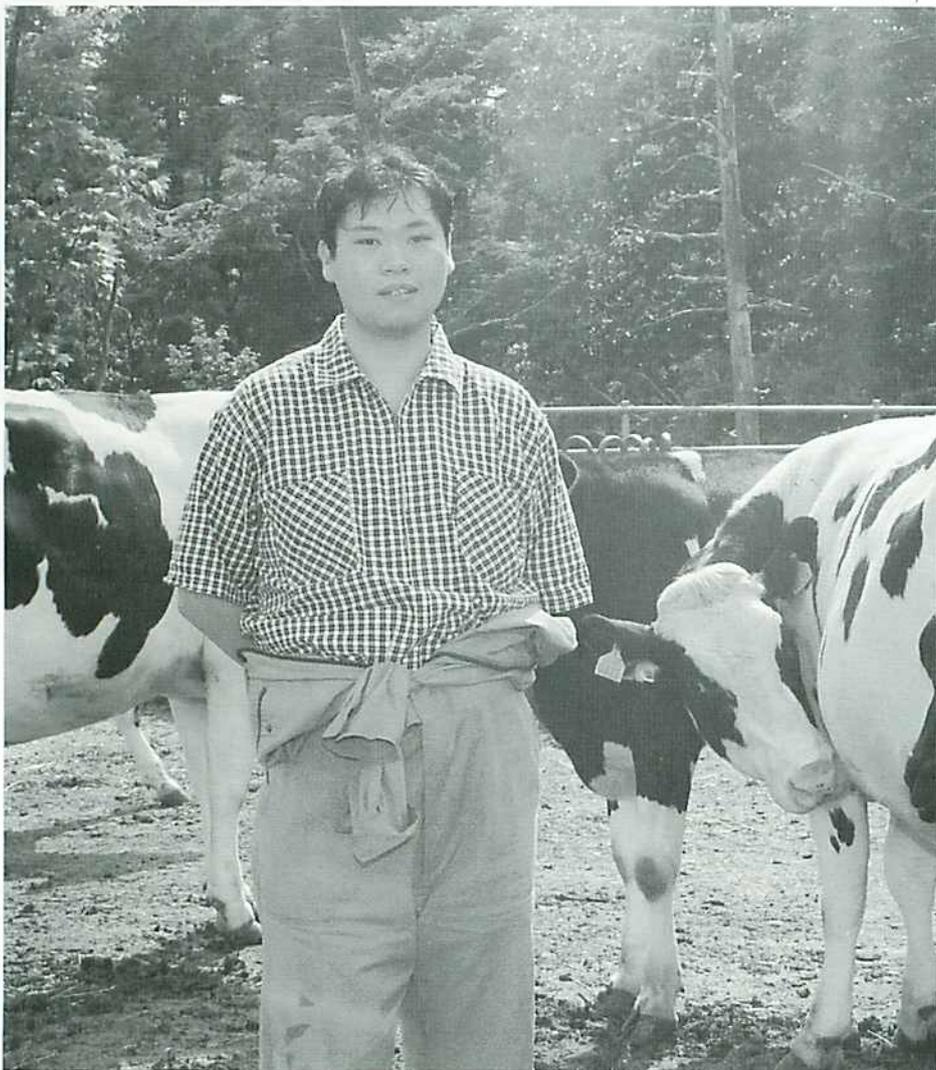
順位	打数	男性	打数	女性
1	98	小林金司	108	渡辺フク子
2	104	星野昇司	110	田代富子
3	105	福嶋信一	113	高持豊子
4	108	西村徳守	117	福嶋美恵子
5	111	阪口一二三	117	久保康代
6	114	佐藤清	118	西村八重子
7	114	渡辺利秋	121	佐藤静代
8	114	弾正原正春	122	若森多貴代
9	115	松尾武	125	小川キミ子
10	116	佐藤勝夫	125	佐藤ヒデ
11	117	藤井弘美	129	岩井誠子
12	117	佐藤永雄	130	小谷みつ子
13	117	遠藤与畏二	131	宮脇みつ子
14	118	阿部正六	135	安達花枝
15	118	久保慶一郎	136	松隈俊美
16	118	小川清	138	松本重子
17	121	遠藤忠義	144	瀬ヶ平静子
18	125	武田専治	146	佐藤美代子
19	132	岩井昇	147	田中マツノ
20	133	内山勲	149	萩原トミ
21	134	広瀬定夫	150	萩原トミ
22	135	武田三郎	151	☆中司きみ
23	135	秋山政雄	161	☆佐伯三子
24	137	田中敏秋		
25	139	☆松岡喜代之助		
26	147	大内利市		

※☆印はブービー賞。
同じ打数で回った人は多数の場合年齢の高い人が上位となります。

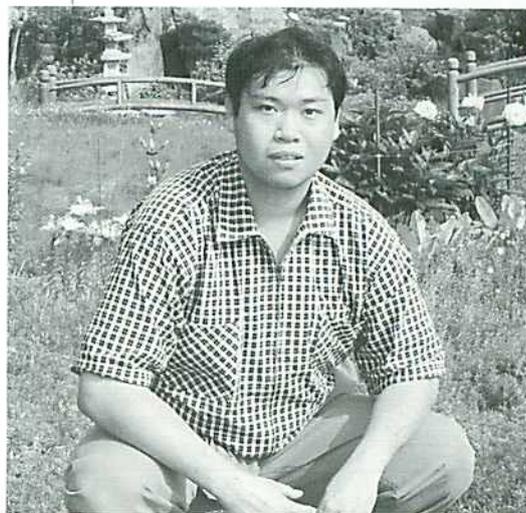
鈴木 達也さん

【パーソナルデータ】

昭和54年1月30日生まれの24歳、
水瓶座、A型。
祖母のツルヨさんと2人暮らし。
営農類型一育成牛販売。



パソコンとボウリング
が趣味と話す達也さん。
人づきあいを大事に
する好青年。



今回ご紹介する鈴木達也さんは、中標津高校商業科を卒業後、酪農学園短期大学の経営情報学科に入学。卒業されてから今年で五年目を迎えています。現在、青年部開陽支部において二期連続で会計の責務を果たしていただいております。

趣味はパソコンにボウリング。ボウリングの腕前の方は、かつて青年部のボウリング大会において優勝を飾ったほどの実力ですが、最近はめっきりしなくなっただということですから、腕に覚えのある方は挑戦してみてはどうでしょうか？ 現在、注目しているのは囲碁とのことです。

青年部の本部には短期大学卒業後三年目に入部し、いろいろなイベントや勉強会へ積極的に参加しております。

将来の目標は「規模拡大し、安定した経営を目指すこと」と語ってくれました。百八十センチと大柄な達也さんは、とても謙虚で人付き合いのいい好青年です。達也さんの今後の青年部活動に期待しています。

(記・青年部情報交流委員会 櫻井寿治)



青年部
西垣 努

第4弾

宣言



青年部
金子 雄司

当幌地区の西垣です！ 自分が経営者になってから5年が経ちましたが、酪農業は突き詰めると奥が深く、まだまだわからない事ばかりで、地元の先輩達にお世話になるばかりです。なかなか独り立ち出来ませんが、いつかは恩返し出来るように頑張っているところです。

現在は、農協青年部の副部長、根室支庁故郷青年会議所の第2委員会委員長・青年会議所を通じ、いろいろな業種の人たちのつながりのなかで活動しています。これからは、今できる事、やらなければならない事を確実にこなし、実績を残し後輩達の良い見本となれるように、自分自身に大きな目標を持って実践していきます。今は消費者に対して、自信を持って消費していただける生乳の生産に全力を投じ、同時に繁殖管理に力を注いでいく事を宣言いたします。

	平成14年度 現状	平成15年度 目標
生菌数	0.5	0.3
最重点目標 ◆ 体細胞数	24.4	20.0
F%	4.10%	現状維持
SNF%	8.67%	現状維持
P%	3.20%	現状維持
全固形	12.78%	現状維持

今、1番力を入れている事は、主に餌の管理を行っていること。そしてもっと乳牛を増やし安定した経営を目指すために、繁殖管理に気を遣っております。

特にフリーストールで飼養するようになってからは、発情を見つけづらくなり、繁殖カレンダーが役立っています。

大半は、妻が管理していますが、誰が見ても気をつけなければならない牛が判ります。皆さんの中には既に利用している方が大半だと思いますが、頭数が増えつつある今、力強い味方です。

自分の考えはまだありますが、この辺で…。



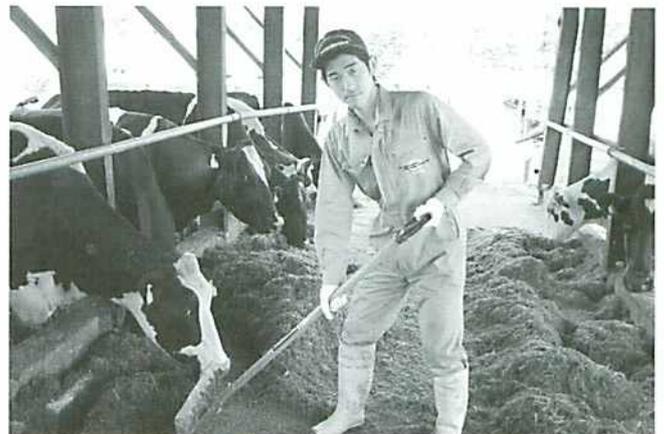
当牧場で私が1番熱を入れている管理は繁殖管理。カレンダーがあると便利です。

私は、依橋地区の金子牧場後継者の雄司です。今年の4月に札幌から戻り、就農しました。4カ月余りが過ぎて、酪農業は肉体的、精神的に過酷で、経営面や牛の管理などオールマイティーな能力を要求される、難しい職業だと実感しております。さて、私の担当は、以前は搾乳中心でしたが、父親が不在の時でも大丈夫なように、また、作業全般を覚えるために、今は給餌をしております。乳質を改善するには、牛の健康に気を配ることが1番だと考えております。両親や青年部の先輩達のアドバイスを聞いて、さらに良い乳牛を生産することを宣言します。

	平成14年度 現状	平成15年度 目標
生菌数	0.2	0.2
最重点目標 ◆ 体細胞数	28.8	20.0
F%	4.10%	4.20
SNF%	8.64%	8.70%
P%	3.14%	3.16%
全固形	12.74%	12.80%

今、1番力を入れている仕事は、給餌です。

現在の給餌場所は、雨が降ると地面がドロドロになり、泥のデッピングをしているような感じ。乳質にも係わるので、現在、建設中のF S牛舎が完成すれば、作業方法が変わるかもしれませんが、今から楽しみです。給餌作業は、牛の健康や乳量に直接係わるので「おいしい牛乳をたくさん出してね」という気持ちで気を配っています。



当牧場で私が1番熱を入れている管理は給餌作業。きれいな場所で食べさせてあげたい

アイドル IDOL

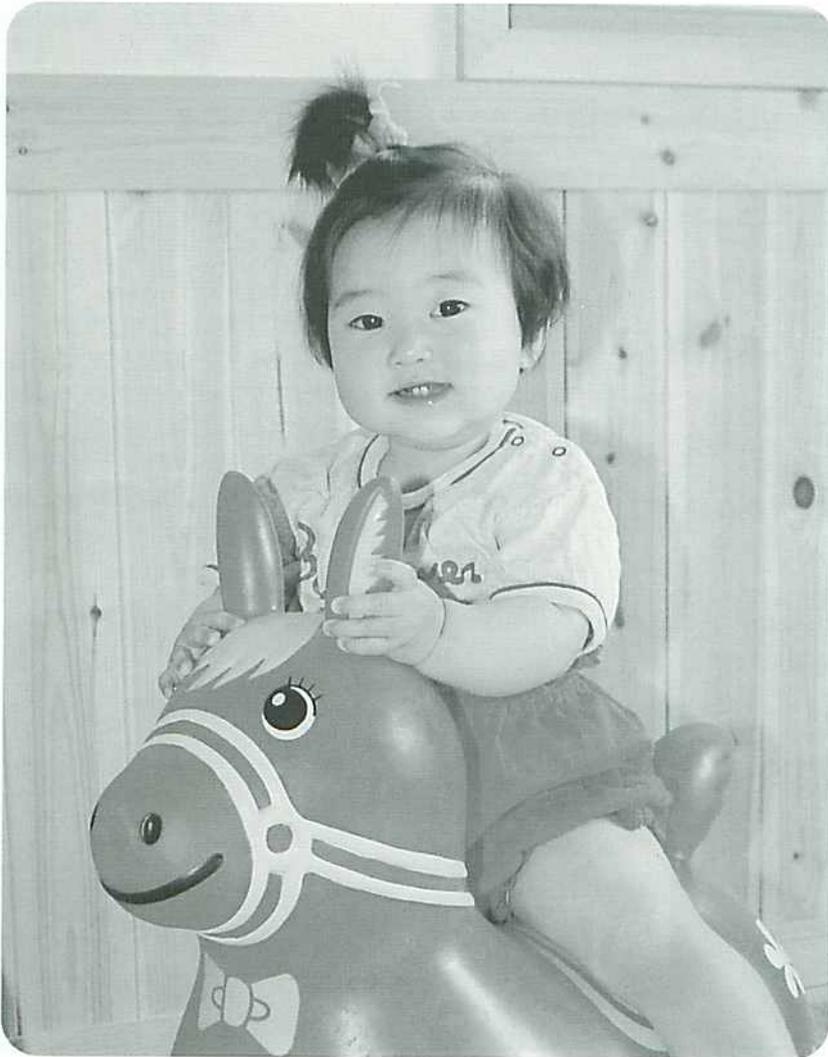
わが家の 人気者

大自然の中、 お馬と一緒にのびのびと育つ美慶ちゃん!

どんよりした天気の中、一番草刈り作業も一段落した今月の人気者は、依橋地区・大西雅秀さん宅次女・美慶ちゃんです。寝起きはいつも上機嫌というそんなお昼寝明けにお邪魔すると、超ご機嫌の美慶ちゃんが終始ハイテンションで取材に応じてくれました。

いつもの美慶ちゃんの行動をちょっと探ってみると、ちょっぴりおしゃべりも多くなつたし、つかまり立ちで行動範囲も広がって、更にはハイハイも日増しにスピードを上げてきた今日この頃。パパ曰く「現在、十秒フラットで、膝小僧がすっかり黒ずむくらい、俄然鍛えられている」とか(笑)。

さて、トマトとお豆腐が大好きだという美慶ちゃんは、これまで特に大きな病気もせず、毎日、保育園から帰ってくる理乃お姉ちゃんを心待ちにしては、一緒に遊んでもらっているんだって。最近では、お姉ちゃんのをやる事がとにかく気になるし、お姉ちゃんのおもちやも触りたいし、時にはそんなおもちやを無惨な姿にしてしまうこともあったりと、以外におてんばさんな面も(笑)。



それから、馬をこよなく愛する大西雅家の娘である美慶ちゃんには、パパやママ同様、動物が大好きで、まだ馬には乗れないけれど、お気に入りの馬の乗り物にこの日も乗って上機嫌!

そんな美慶ちゃんの将来について、パパとママに尋ねると「十二歳で四歳の子供を突き落としたり、十六歳で親をバットで殴ったりしない、こましゃくれない、素直で伸び伸びとした子供に育って欲しい」と、現実味のあるお答えをいただきました。美慶ちゃん! 大自然で、優雅に走るお馬さんのように優しく、そして素直で素敵な女の子になってね!

大西 美慶 ちゃん

おおにし みのり
2002年9月18日生
大西雅秀・歌織さん夫妻の次女
として生まれる

牛、馬を見て 触れて、体験して。

●酪農体験アトラクションの思い出

六月十三日、中標津町農協総合共進会で丸山小学校三年生を対象に、酪農体験アトラクション（搾乳・哺育・乗馬・各共進会見学・和牛肉試食体験）が開催されました。この企

画は昨年から行っており、中標津町の基幹産業は「酪農」でありながら小学生達は牛や馬に触れることがほとんどなく、今回の体験はとても貴重な思い出になったようです。その時の思い出などが寄せられましたので何人か抜粋して掲載いたします。

高校生続々と



酪農郷で体験学習

牛の学習



3年 2組 名前 川野 沙記

①牛のちちしほりをたいけんして、心にのこっていることは、なんですか？

さわらかくて、あたたかかったです。

②牛におちちをあげて、心にのこっていることは、なんですか？

ときどきヨダレなたれるけど、すくつかわいかったです。

③馬に乗って、心にのこっていることはなんですか？

小さい馬や大きい馬、こわいかわみや、耳をさわらせてくれました。

④中標津の牛肉をたべて、かんそうを書いてください。

うまいかったです。また、食べたいです。

⑤牛についてもっと知りたいこと、しらべてみたいことはなんですか？

チーズはどのようにして作っているのか？

⑥しょうたいしてくださった中標津農協のみなさんへ、うまいこととおいえてあげてありがとうございます。

うまい。また、行きたいです。



牛の学習

3年 2組 名前 阿部 奈緒美

①牛のちちしほりをたいけんして、心にのこっていることは、なんですか？

しほるとき、あたたかかったです。はじめに、こぼれたら、かわいそうかと思いましたが、かみでかきました。

②牛におちちをあげて、心にのこっていることは、なんですか？

あけるとき、すこいのみ、ふりたと思いましたが、かきました。

③馬に乗って、心にのこっていることはなんですか？

楽しかったし、自分でもはじめて乗りました。

④中標津の牛肉をたべて、かんそうを書いてください。

牛肉はほとんどもおいしかったです。

⑤牛についてもっと知りたいこと、しらべてみたいことはなんですか？

牛のしほり、いかに、もっと、矢張り、いじります。

⑥しょうたいしてくださった中標津農協のみなさんへ、うまいこととおいえてあげてありがとうございます。

うまい。また、行きたいです。

牛の学習

3年 1組 名前 花川 梨

①牛のちちしほりをたいけんして、心にのこっていることは、なんですか？

牛のおっぱいが、わあ、わあ、からすく、てたの、かたの、しかなかった。

②牛におちちをあげて、心にのこっていることは、なんですか？

牛に、ミルクを、あげて、たの、し、か、た、で、す。

③馬に乗って、心にのこっていることはなんですか？

さし、しょう、ま、お、ち、る、か、な、と、お、も、い、ま、し、た、が、だ、い、じ、ょう、ぶ、で、し、た、う、ま、に、の、て、た、か、た、あ、り、か、ら、う、ご、ざ、い、し、ま、す。

④中標津の牛肉をたべて、かんそうを書いてください。

うまい、か、た、し、あ、ま、か、た、か、ら、あ、り、し、か、た、で、す。

⑤牛についてもっと知りたいこと、しらべてみたいことはなんですか？

牛は、いつ、も、な、ん、じ、に、は、ん、を、た、べ、ま、す、か？

⑥しょうたいしてくださった中標津農協のみなさんへ、うまいこととおいえてあげてありがとうございます。

あ、り、か、ら、う、ご、ざ、い、し、ま、す。

牛の学習

3年 1組 名前 中川 壮士

①牛のちちしほりをたいけんして、心にのこっていることは、なんですか？

プニプニして、気持ち、か、た、か、た、か、た、。

②牛におちちをあげて、心にのこっていることは、なんですか？

う、ま、く、口、に、は、い、ん、な、か、た、か、た、い、じ、の、ん、で、い、た、か、ら、よ、か、た、。

③馬に乗って、心にのこっていることはなんですか？

さ、い、し、よ、に、の、り、て、み、た、ら、か、た、ゆ、り、し、て、こ、わ、か、た、け、と、さ、ら、さ、ら、い、た、。

④中標津の牛肉をたべて、かんそうを書いてください。

す、ご、く、お、い、し、か、た、。

⑤牛についてもっと知りたいこと、しらべてみたいことはなんですか？

牛の、し、ほ、り、い、は、何、し、ほ、り、あ、る、ん、で、す、か、。

⑥しょうたいしてくださった中標津農協のみなさんへ、うまいこととおいえてあげてありがとうございます。

う、ま、い、し、か、た、。ま、た、あ、い、た、い、し、お、も、い、ま、す、。

当農協の夏の風物詩といえば、夏祭りもそうですが、次代を担う若者達へ高校生の学習もその一つです。六月十八日～六月二十七日までは、中標津町農業高校の男子五人が、当農協五戸の農家で酪農体験を行いました。同じ十八日～二十八日まで、当農協へ企業実習にも訪れています。六月二十六日～七月五日までは、兵庫県立氷上高等学校の男子十八人が、受入十七農家でお世話になりました。七月三十日～八月五日までは、東電学園高等部の男子生徒十一人が、九戸の受入農家で実習しました。写真には東電学園高等部生徒代表・梶山猛博くんの力強い挨拶の模様です。受け入れ先になっていただいている組合員さんには、いつもご協力いただきありがとうございます。

生産者の日々の努力と、 丁寧な選別で毎年高評価！

●だいこん選別選果作業操業式



田中世一だいこん部会長のあいさつ

今年の夏だいこんの収穫が始まった七月十八日(金)、依橋にある選果場でだいこん選別選果作業の操業式が開かれました。町及び農協関係者ら十二人と

作業者五十人余りが詰めた選果場では、まず組合長が挨拶に立ち、「評価が毎年高まっている当農協のだいこんは、生産者の日々の努力とみなさんが丁寧に選別していただいているからとも言えます。三カ月という長丁場になります。怪我や事故がないように努めていただきたい」と選果作業者を奮起し、続いて田中世一だいこん部会長は「ぼつと見渡すと、長く選果作業に来てくれる人の顔が見えますが、初心に戻ってもらいたい丁寧な選果作業を行っていただきたい。また、ブロッコリーを今年作付けたこともあり、作業者の方には仕事を増やしていくけるようになるのでは」と挨拶。長渕農産課長補佐による朝礼の後、担当職員の紹介を行い、それぞれの持ち場について初日の作業が開始されました。

初日の朝礼で話した課長補佐の言葉は、農作業に限らずどんな仕事にも通じるものがあるの掲載します。

みなさんには三つのことを守ってほしい。

一つは約束を守るということ。八時から朝礼を行うと伝えてあった。でもそれを出来ない人もいる。遅れるなら連絡するなどし、これを守ってほしい。

二つ目は楽しく仕事をして欲しい。たくさんの方が作業をしているので、ちょっとした言葉の取り違いなどで喧嘩になることもある。気遣い合って協調し合うことで、楽しく仕事ができる環境を作らない人は辞めてもらうことになるかもしれない。

三つ目は一生懸命やってほしいということ。いろんな人がいるので作業が遅い人、早い人それぞれいます。その人の持てる力を十分に発揮してくれば必ず評価されます。要領が良く作業が早くても、さぼっているような人は一生懸命な人には敵わない。自分のベストを尽くし一生懸命になって下さい。



長渕課長補佐による朝礼のことば

日本で一番遅い季節まで楽しめます。

いちご部会
乾農場のいちご摘み



青い実はとっちゃだめだよ

依橋の乾農場では馬鈴しょ、甜菜などの農産物生産の一方、いちごの生産・出荷販売、さらにいちご狩りの場を一般に提供しており、土曜・日曜などは町内近郊からはもちろん、根室、帯広方面などからも家族連れが車で訪れ、イチゴ狩りを楽しんでいく姿が見られます。

乾美佐子さんが作付けているいちごの品種は「ほうふうわせ」、「きたえくぼ」、「けんたろう」、「なつみ」、「えらん」の五種類。それぞれの特性といちご用の特別肥料、それと中標津の気候によって、日本で一番遅い季節まで路地もののいちごが生産可能なのだといえます。

摘みたていちごには砂糖やミルクは要りません。甘酸っぱさよりも甘味が強い感じと味覚を刺激します。

今月中旬頃からは、ハウスの中の四季なりいちごが最盛期を迎えて真っ赤な実を付け、出荷作業も忙しくなっています。

古い農機具もアイディア次第 形を変えリサイクルして再利用。

●トレーラーハウスが完成

北進の佐伯雅視牧場にある
帰農館(佐伯館長)と、平山寛
氏経営のレストラン牧舎横に
農機具リサイクルのトレーラ
ーハウスが完成し、最近では、
牧舎を訪れる観光客の目を惹
いています。

このトレーラーハウスはも
ともと地区の牧草収穫利用組
合、高性能利用組合が昭和四
十八年頃に購入し、タワース
イロの詰め込み時に使用して
いた木製のクロープトレーラ
ー。活用しなくなったものを
譲り受けたもの。アメリカの
ニューホランド社のもので、
当時で約五百万円程と大変高価なもの
だったといえます。

雪どけ後、制作費として約七十万円
ほどの材料代をかけ、今年の五月から
製作を開始し、約五十日で完成しまし
た。外装デザインは佐伯氏、内装・照
明は平山氏が担当し、外装の木と合わ
せて木で作られ、縄ばしごでロフトに
登れる仕組み。ドア? が大きく開放



完成したトレーラーハウス

するので周囲の景色が一望出来ます。
「農業が近代化するにつれ、昔のもの
が無くなっていくが、保存できるも
のは形を変えた中でリサイクルし活用
していきたい」と佐伯氏。電気照明関
係も引きこんであるため、夜の会合に
も活用できそう。ライダーなど宿泊希
望の方には開放する予定もあるそうで
す(料金など未定)。

中標津町商工会が組織するまちづくり委員会に、地域住民団体等委員としてJA青年部副部長の鷲見健氏と、当農協乾信参事が選出され、七月二十四日(木)中標津経済センターで委嘱状を交付されました。

商店街と言え、街の顔といわれ
るほど町として重要なもの。長引く
の空洞化として懸念されています。
不況下、商店数の減少で空き店舗が
来年初、町内に出没されると言わ

よりよい街づくり、活性化を目指し、
農協関係者二人が、
まちづくり委員に選出されました。

●まちづくり委員会



代理で委嘱状を受け取る青年部・藤田副部長

れている大型複合店
舗などに対して商店
街の活性、進むべき
方向などを学識経験
者、行政、商工会、
商工団体、地域住民
代表者で学びながら
考え、よりよい街づ
くりを目指してい
くもの。
農協関係から二人
選出されていること
もありますので、消
費者サイドとして、
生産者サイドとして
のご意見をFAXに
てお寄せいただけ
れば幸いです。

行いましょう！ フレッシュチェック

家畜改良課より

夏もいよいよ本番！ 順調にこの忙しい時期を乗り切り、早く実りのある秋を迎えたいものです。

前回は、基本に戻って具体的な発情徴候について書かせていただきました。しかしながら、牛群の中には前回書いたように具体的発情徴候をみせないような牛がいるのも事実だと思います。それらの牛は、単純に発情の見逃しなどであるのならば良いのですが、ほとんどは何らかの繁殖障害が考えられます。そのような場合に直面した際に、ただ発情徴候を示すまでおいておくのではなく、定期的なフレッシュチェック（繁殖診断）を行うことにより、早期に繁殖障害を発見する事が出来るという点や、発情周期を予測することによって、初回授精を早める事が出来ると思われまます。ではどのような活用すれば有効なのでしょうか？

フレッシュチェックを有効に活用するには、第一に発情をみせないなどと感じてからみせるよりは、分娩後から一定の期間を設定してその期間に牛をフレッシュチェックにかけるというのが有効だと思われまます。仮に少し前にこのコーナーで説明したVWP（分娩後からの任意待機期間）を五十日と設定したとき、半月に一度のサイクルでフレッシュチェック

を行い、もし何らかの繁殖障害が認められたときに、治療が必要なときは速やかに獣医さんへ連絡して治療してもらい、障害が認められないときは次回の検診日を決める…とこのようなサイクルでまわしていければ発情発見率・妊娠率の向上、空胎期間の減少に大変効果があると思われまます。

しかしながら、いくら半月に一度とは言ってはみても、これらのデータを把握するのはかなり大変…そこでこれらの準備にかかる手間を軽減するために、繁殖カレンダーを上手に活用していきましょう！ またフレッシュチェックの結果の記録（メモなど）など常に牛舎の目につくところに置いておくというのかなり重要なのです！

今回はフレッシュチェックの重要性と具体的な利用例をあげさせていただきました。今回のことで一番大事なのは、フレッシュチェックや人工授精などを通じて我々とキヤッチボールをするということです。本当は立ち会っていたければ最高なのですが、さすがに今の時期それは難しいことだと思っております。

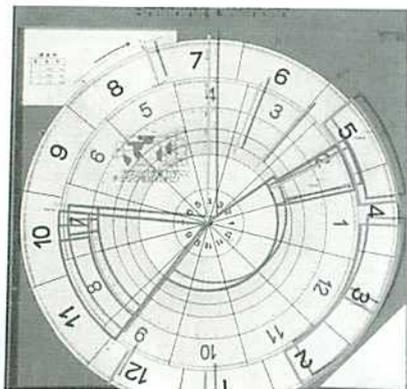
だから皆さんが仕事にでる際に授精・チェック牛に徴候などのメモなどを通じて、コミュニケーションをとっていければ

ばと考えています。何かと忙しい夏ですが、フレッシュチェックを積極的に行って繁殖管理向上に努めていきましょう！

家畜改良課では、フリーディングカレンダー（繁殖管理盤）（写真）購入のとりまとめを行っております。今回記載の記事のとおり、繁殖の基本となり得るものですし、回転式ですので、この機会に一牧場一台のご購入をお勧めいたします。サイズ九十センチ×九十センチ。

詳細については家畜改良課

電話3-2131番まで、取りまとめ期限八月末日。



おすすめの繁殖管理盤です

離婚を考えたことがある？

●根釧農試が酪農フォーラム開催

根釧農業試験場は八月十日、「酪農場で働く家族の役割」をテーマに第十回の根釧農試酪農フォーラムを開催し、町内外から酪農関係者約百人が聴講しました。

基調講演では名寄短期大学の河合知子助教授が「酪農場で働く女性の意識」と題して、実際酪農に携わる女性が心に持つ不満や人間関係など

家族の役割とは…

と家族のつながりについて、「離婚を考えたことがある」四八・七割（回答者全体の）など、昨年六月に浜中町農協で行った酪農家全女性対象の調査結果を踏まえ、「問題提起による家族会議でコミュニケーションを図ること、男性は優しい言葉を女性にかけてあげる事で女性のストレスがいやされる事」などを講演しました。

続いて行われたフォーラムでは、農業試験場の西海豊頭主任専門技術



講演する河合知子助教授

員をコーディネーターに、標津農協の西田正夫生産部長、計根別農協管内の酪農女性担い手グループ「えふ・すういーる」の有原香和恵代表をパネラーとして迎え、「協働しなければならたない酪農業を行っていく中で家族間の関わりや役割について討論し、参加者に意識を投げかけました（九月号にフォーラムの様子を紹介します）。

七月三十日から八月一日までの二日間、JA根室地区青年部連絡協議会とJA根室地区女性協議会らが共催する小学生農業体験学習が実施され、町内の小学生五年生の男女五人が青年部員、西垣努牧場（当幌）、藤原智樹（武佐）宅でなまの酪農業を体験しました。

今年、十九回目を迎えた体験学習、根室管内全域で五十余人の小学生を受け入れ、「酪農を体験してもらい、好きになってもらい、将来の職業候補としてもらえれば」（根室地区青協大平副会長）といった趣旨で行われているもの。

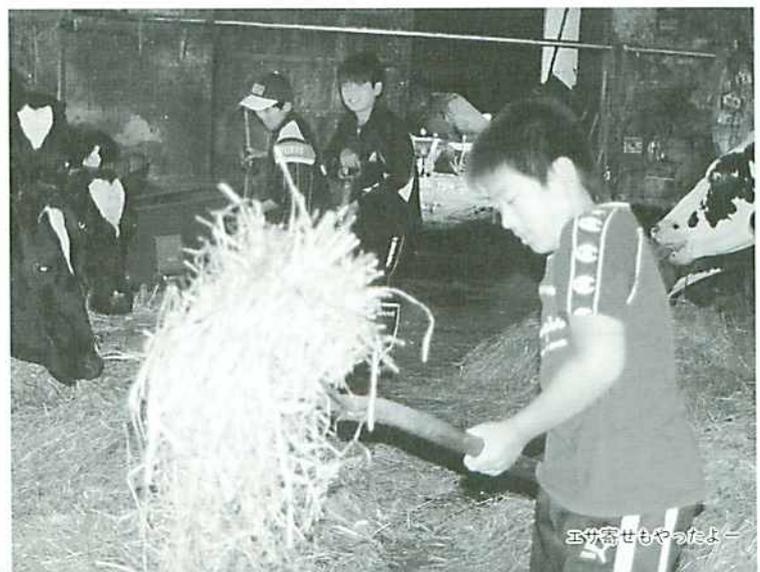
当初、西垣努牧場には三人の女の子が参加する予定でしたが、体調がすぐれないため二人となりました。

酪農を好きになれたかな？

●小学生農業体験学習

りました。

一、二日目は、牛の餌寄せや仔牛のミルクやり、トラクター同乗に大興奮。最終日には、JA中標津交流拠点施設を使って受入牧場で搾乳した牛乳を使用してのバターづくり挑戦、充実した夏休みの二泊三日になったようです。



玉苜蓿せもやったよー



子仔のミルクやり、ちょっと緊張気味

生産技術



土壌の成分を把握しよう

北根室地区農業改良普及センター

良質粗飼料を確保する上で、草地の土壌成分を知り問題点を改善することは重要な要素の一つです。

一、北根室地域の土壌診断結果の特徴 (表一)

表一は、平成十四年度北根室地域(中標津町、標津町、羅臼町の維持草地)の土壌診断結果です。

(一) pH

基準値は五・五〜六・五です。ほとんどの草地が基準値以内にあります。ただし、草地更新時の改良目標は六・五であり、基準値内でも下限の草地は炭カルなどの草地への投入を、近い将来考える必要があります。

(二) リン酸

約八〇割の草地が、基準値内か基準値以上にあります。リン酸が基準値以上であっても牧草に悪影響はありませんが、一般的にリン酸資材は高価ですので、リン酸過剰の草地にはリン酸分の少ない化学肥料を選択しましょう。

(三) カリ

約六六割が基準値以上です。カリは牧草の光合成やタンパク質合成の代謝に利用される大切な要素である反面、過剰になると「ぜいたく吸収」と言われるように、牧草中のカリ含有率はどんどん高まります。カリ過剰の牧草は、乳牛の分娩直後の疾病(起立不能、後産停滞、第四胃変位など)の発生につながるおそれがあるので注意が必要です。草地への糞尿散布量の増加が理由として考えられるので、糞尿の成分含有量に合わせた化学肥料の検討が重要です。糞尿成分がわからない場合、たい肥であれば年間二割〜一〇割程度の散布が目安ですが、尿やスラリーは成分分析ができるので、一度分析することをお勧めします。糞尿成分の簡易分析は普及センターでも行っています。

石灰、苦土

石灰は五〇割以上が基準値内にあり、苦土は約七〇割が基準値内か基準値以上でした。石灰不足は、土壌の酸性化やマメ科牧草の生育低下の要因となります。また、各成分の拮抗作用に注意する必要があります(カリを多用すると苦土の吸収が抑えられるなど)。(表一)つまり基準値内であっても、それぞれのバランスが大切になります。土壌分析を行えば、拮抗作用に関係する土壌成分の含有量や、バランスを確認することができます。

二、土壌診断結果の一例

図二は、A農家の草地の土壌診断結果です。分析機関によって結果の表示方法は違いますが、解りやすく図表でも表現してくれます(この他に土壌成分結果の数値と基準値なども表示されます)。この草地の場合、リン酸とカリ含量の低い化学肥料を選ぶことが可能になります。

土壌サンプリングを行うための道具は、普及センターにも用意してあります。草地の土壌分析は三年に一度行うことが推奨されているので、しばらく分析を行っていない草地があれば一度土壌分析を行ってみましょう。

表1 拮抗作用の関係

カリ(多)⇒作物の苦土吸収を抑える
 苦土(多)⇒作物の石灰(カルシウム)の吸収を抑える
 石灰(多)⇒作物の苦土の吸収を抑える

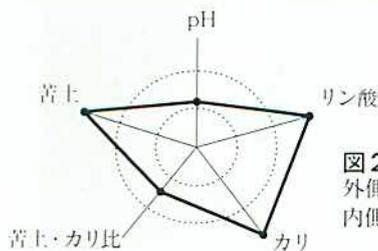


図2
 外側の円：基準値上領域
 内側の円：基準値以下領域

□基準以下 □基準内 □基準以上



図一 土壌分析結果、平成十四年度北根室地区農業改良普及センター

再三のチャンスを いかしきれず、 惜しくも初戦で敗退。

●管内農協野球大会



職員、組合員の大声援も届かず…

大会に駒を進めることとなりますが、夜の札幌だけでなく試合にも頑張ってもらいたいものです。

農協は、札幌の全道
標準農協。準優勝
中春別農協。標準
農協は、札幌の全道

【試合結果】優勝
標準農協。準優勝
中春別農協。標準
農協は、札幌の全道



藤田選手(農産販売課)の打球は惜しくもファールに

今年もこの季節がやってきました。管内農協の野球大会の時期が…。七月二十日(日)別海球場で開催された今大会、当農協野球部の初戦相手は中春別農協、毎年格下と思っていた中春別農協に対し苦戦の末、初戦敗退の結末。

一回の表ワンアウト2-3塁とチャンスをつかんだ中標津でしたが、攻め切れずに無得点。その裏タイムリーヒットなどを絡めて二点入れられリードを許してしまいました。

その後も再三、ランナーを進めるも、ノーアウト一・二塁から反撃のろしとなるはずだった藤田選手のレフト線の打球が惜しくも大ファールとなり、チャンスを生かし切れずに0-3で敗退となりました。曇り空で肌寒かったこともあり、最高の選手も最上の応援団もともに元気がなく、それが試合に現れてしまったような試合結果となっていました。

日帰りドック検診のながれ(表1)

時間	内容
8:15	確実に摩周厚生病院に到着してください
8:30	受付、オリエンテーション
8:45	血圧、伸長、体重測定 血液検査、問診表の確認
9:00	胸部X線写真、腹部超音波、胃バリウム検査 心電図、視力検査、聴力測定、呼吸機能検査、眼底検査 ※オプション検診を希望される方は適宜検査を受けられます。(乳ガン、骨粗しょう症、脳ドック、肺ドック)
11:30	昼食
12:30	血圧測定
13:00	検査結果説明、健康相談
	帰宅

便の採取は、前日と当日のもの(2回法)をお持ちください。
※目安時間であり、オプション検診を希望される方は時間が長くなります。

〈基本検診内容〉 組合員自己負担9,000円(通常29,000円)

呼吸器系~胸部レントゲン
循環器系~心電図、眼底検査
消化器系~バリウム、検便
泌尿器系~検尿
肝臓・膵臓~
腎臓~
糖尿病~免疫血清学的検査=血液検査

〈オプション検診〉 組合員自己負担・下記半額

乳ガン検診	1,000円
骨粗しょう症検診	1,800円
脳ドック検診(単独検診時)	28,000円
〃 (基本ドックのオプション検診時)	22,000円
肺ドック検診(基本ドックのオプションのみ)	9,900円

※オプション検診料金はすべて基本検診に加算されて請求されます。税は別途。

健康管理に 日帰りドック検診を

●摩周厚生病院

今年三月開院、五月から検診業務を行っているJA北海道厚生連の摩周厚生病院(弟子屈町泉二丁目三番一号)では、日帰りの人間ドック検診を行っています。

受診内容は、表一の行程で行われ、各診療科の医師が検査当日中に結果の説明を行い、看護師の健康相談をしているもの。一日に最大五人(通常四人が基本)まで検診を受けられる施設で、八月からは脳ドック、肺ドックの検診もオプションとして行う事が出来るようになります。

病気を早期発見すること、生活習慣病の予防が目的ですが、他の農協組合員と比較し、中標津農協組合員

は検診する方が少ないというデータがあります。機械化が進んでいるといっても、まだまだ農業は「体が資本」ですから、健康管理のためにも是非年一度の検診をお奨めいたします。

▼検診曜日 男性・月・水・金
女性・火・木、定休日・土・日・祝日。事務担当の大久保さんによると「今月以降の空き日は二人まで埋まっているところがありますが、まだまだ余裕がありますのでご連絡願います」とのこと。受付は、組織広報係(電話2-3721番)まで。





今月号からなるべく有用な情報を掲載・告知してゆけるようなスペースを用意しましたので、何かありましたら(何時、何処で、誰が、何をします)という情報をお待ちしております。

ライムケーキの圃場散布を実施

【武佐】武佐の真野光章牧場で七月十五日、ライムケーキの圃場散布実証試験を農産販売課がホクレン、斜里農協などの協力でを行いました。ライムケーキは、甜菜を精製する時に不純物を吸着させるために使用したのから産出され、そのまま圃場に散布するためには普通のマニユアスでは細かすぎるので撤けません。このため専用の散布機が必要になり、斜里農協で導入しているものを使用し試験を行ったもの。ライムケーキ



ライムケーキの散布実証試験

自体は旧来よりも水分を少なく出来るようになったので扱い易くなっており、肥料成分率で換算すると金額的にタンカルよりもかなり安価な肥料となります。しかしながら、土壌診断を行って適正量以下で散布することが望まれるため、興味のある方は農協や普及センターへご相談下さい(ライムケーキの扱いは、農産販売課)。

写真展を開催中!

【帰農館】北進の佐伯雅祝牧場にある帰農館(佐伯館長)では、現在「馬たちの王国」と題した写真展を開催中です。多数、馬の写真集を制作している写真家・高橋一郎氏のもので九月五日頃まで。

また、若竹小学校教師として赴任していたこともある前田肇氏の写真も展示しております。小学校の子供達の写真が主で、中には弾正原真由美さん、横田純子さん達の子供の頃の写真もあり見事です。

その後、九月五日から十月五日までの一カ月間は、俣落の小出清信氏による写真展を開催する予定です。

ロールメッセージ募集。

【JA青年部】ロールバックで毎年、地域の農業をアピールしている青年部ですが、今年も十一月末までに制作し写真を撮り、応募することが先日の役員会で決定しました。アピール内容やどのような形にロールを積むかなど、各支部で検討することになっておりますが、皆様からも広く案を八月末まで募集いたします。

JA青年部事務局(真野)
電話2-3721番まで。

なかしべつ空港まつりが開催されます。

【なかしべつ空港】「空港まつり」実行委員会では、九月七日(日)午前九時三十分より「中標津空港まつり」を開催します。

当日は、キャビン・フライトアテンドとの写真撮影会や、普段立入制限されている区域が解放されたり、モーターグライダーの体験飛行など空の日にちなんだイベントが目白押し。同日、ゆめの森公園で行われる「伯爵まつり&ふれあい広場」に会場が近接していることもあり、足運んでみてはいかがでしょうか。

じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場の案内

【じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場】当農協青年部、商工会青年部、なかしべつマリンスファームが組織するじゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場実行委員会は、九月七日に十六回目となるイベントを開催します。今年はお会道を立ゆめの森公園イベント広場(中標津空港旧滑走路)に移し初めての開催。同空港の「なかしべつ空港まつり」と同日開催という事で、町内外から多数の来場が期

待されています。今年には移転記念のイベントとして、根室地区青年協議会協賛によるアバレンジャーショーや、恒例のサケ・マスつかみ獲り、ゲーム大会などのイベントが目白押し。雨天決行。

前売券は農協・青年部員や、商工会・青年部員で販売いたします。いも掘り券、なかしべつピーフ券、ワンドリンクサービス券、抽選券が付いて一千五百円。(前売り券・受付組織広報係・電話2-3721番)



伯爵まつり&ふれあい広場会場

活動内容・成果事例を募集

【家の光】北海道農業協同組合中央会とJA北海道女性協議会は、家庭

情報誌「家の光」の掲載記事から学んで実践したこと、現在活動しており今後、家の光で取りあげてもらいたいさらに普及したい事柄などに対する活動成果・活動内容についての事例を募集しています。応募は四百字詰め原稿用紙七枚以内。締切は九月三十日。JA女性協議会(中標津の場合・中央会・石山)まで。電話2-2304番

環境保全型酪産推進コンクール

【北海道クリーン農業推進協議会】北海道クリーン農業推進協議会では、九回目となる環境保全型酪産推進コンクールを行います。土作りの励行や地域にあつた輪作体型の確立、先進的な環境保全型農法及び経営、流通面の工夫などの創意工夫に対して書類選考及び現地調査によって審査されます。全国を八ブロックに分け予備審査し、全国推進協議会の了承を得て最終決定されるもの。興味のある方は

〒060-0004

札幌市中央区北四条西二丁目

北農ビル十階・北海道クリーン農業推進協議会事務局・JA北海道

中央会営農企画課)

電話011-232-6411番。

応募期限九月末まで。

7月の組合日誌

- 4日 第1期種馬鈴しょ防疫検査
- 9日 岩手県豊沢川土地改良区役員視察
- 11日 第3回企画会議
- 12日 だいこん部会打ち合わせ
- 14日 畑地帯総合整備事業聞き取り
- 17日 第2期防疫検査～18日
- 22日 馬鈴しょ振興会役員会
- 23日 第5回青年部役員会
- 24日 農協総合共進会代表者会議
- 25日 JA夏まつり
- 29日 第4回伯爵まつり実行委員会
農業後継者相談員会議
- 30日 東電学園酪農実習受入式
畑対役員会
- 31日 NSH利用組合精算会議

●編集後記●

七月後半から八月始めにかけて、中々カラッと晴れてくれなれない天気嫌気がさした方も多いと思います。現在、八月四日の朝四時です。初めての異動により、ばたばたとした七月になってしまいました。その中でも二十ページもの(多ければよいというものではないですが)広報誌を発行することが出来て、皆さまのご協力に感謝するとともに、初めてにしては上出来かと胸を撫で下ろしているところです。

今年いっぱい、表紙にある「あなたとJAをむすぶ情報誌」というフレーズどおりに、さまざまな情報をいろいろな形で実験的に提供していければと考えております。皆さまからの情報もお待ちしております。さて、繁忙期の七月、大空の下で「かあちゃん」のそして、「子供」のたくましさを実感しました。



撮影：7月2日

写真はテッター作業をする尾崎孝子さんと雪太郎くんです。作業を止めるのも申し訳ないと思いつつも、作業機の中、途中から母の背中がスヤスヤと気持ちよさそうに寝顔になっていました。雪太郎くん、緑の大地ですくすくとたくましく育て!

懐しき古き一枚の写真



北光地区に入植して4年目、昭和27年頃の初夏の写真だと思います。今からちょうど半世紀前の、田中利秋さんご夫妻とご兄弟で、自宅前でみなさん揃ってのデントコーン除草作業をしているところです。

50年の月日が過ぎるのは早いもので、今では機械化と規模拡大で、このような農作業風景は見られなくなりましたね。

写真提供 藤井 弘美氏